周易・雑卦伝の句

音読用書き下し文

留意事項

◆ 自己研鑽に作成しています。スマホ表示にて、毎朝夕に音読し、隙間時間に黙読する目的です。写書にも使える想定です。

◆ 日本語表記は「本田済 著. 易. 朝日新聞社, 1997.2. 646p ; ISBN 4-02-259010-6 」を参考に作成しています。解説を要する場合にはまず、この書籍の購入をお勧めします。

◆ 読み仮名は「今井 宇三郎 著 新釈漢文大系 23 易経 上 明治書院 1987 600p; 4-625-57023-9978-4-625-57023-0」「今井 宇三郎 著 新釈漢文大系 24 易経 中 明治書院 1993 770p; 4-625-57024-7978-4-625-57024-7」「今井 宇三郎 著／堀池 信夫 著／間嶋 潤一 著 新釈漢文大系 63 易経 下 明治書院 2008.11 520p; 978-4-625-67314-6」を参考に選択しています。

◆ 漢字表記は「https://ja.wikipedia.org/wiki/六十四卦」を参考に編集しています。同サイトの有効活用、および継続的な寄付をお勧めします。

乾(けん)は剛(ごう)に、坤(こん)は柔(じゅう)。
比(ひ)は楽(たの)しみ、師(し)は憂(うれ)う。
臨(りん)・観(かん)の義(ぎ)は、或(ある)いは与(あた)え或(ある)いは求(もと)む。
屯(ちゅん)は見(あら)われて其(そ)の居(きょ)を失(うしな)わず。
蒙(もう)は雑(ざつ)にして著(あら)わる。
震(しん)は起(お)きるなり。艮(こん)は止(と)まるなり。
損(そん)・益(えき)は盛衰(せいすい)の始(はじ)めなり。

大畜(だいちく)は時(とき)なり。无妄(むぼう)は災(わざわい)なり。
萃(すい)は聚(あつ)まって、升(しょう)は来(きた)らずなり。
謙(けん)は軽(かる)くして、豫(よ)は怠(おこた)るなり。
噬嗑(ぜいごう)は食(くら)うなり。賁(ひ)は色(いろ)なきなり。
兌(だ)は見(あら)われて、巽(そん)は伏(ふ)すなり。
隨(ずい)は故(こと)なきなり。蠱(こ)は飭(とと)のうなり。
剥(はく)は爛(らん)なり。復(ふく)は反(はん)なり。

晋(しん)は昼(ひる)なり。明夷(めいい)は誅(ちゅう)するなり。
井(せい)は通(つう)じて、困(こん)は相(あ)い遇(あ)うなり。
咸(かん)は速(すみ)やかなり。恒(こう)は久(ひさ)しきなり。
渙(かん)は離(はな)るるなり。節(せつ)は止(とど)むるなり。
解(かい)は緩(かん)なり。蹇(けん)は難(なん)なり。
睽(けい)は外(そと)なり。家人(かじん)は内(うち)なり。
否(ひ)・泰(たい)は其(そ)の類(るい)を反(はん)するなり。

大壮(だいそう)は止(とど)まり、遯(とん)は退(しりぞ)くなり。

大有(だいゆう)は衆(しゅう)なり。同人(どうじん)は親(しん)なり。

革(かく)は故(ふる)きを去(さ)るなり。鼎(てい)は新(あたら)しきを取(と)るなり。

小過(しょうか)は過(す)ぐるなり。中孚(ちゅうふ)は信(まこと)なり。

豊(ほう)は故(ことおお)多く、親寡(しんすくな)きは旅(りょ)なり。

離(り)は上(のぼ)りて、坎(かん)は下(くだ)るなり。

小畜(しょうちく)は寡(すくな)きなり。履(り)は処(お)らざるなり。

需(じゅ)は進(すす)まざるなり。訟(しょう)は親(した)しまざるなり。
大過(たいか)は顛(くつが)えるなり。
姤(こう)は遇(あ)うなり。柔(じゅう)の剛(ごう)に遇(あ)うなり。
漸(ぜん)は女(じょ)の帰(とつ)ぐに男(だん)を待(ま)ちて行(ゆ)くなり。
頤(い)は正(せい)を養(やしな)うなり。
既済(きせい)は定(さだ)まるなり。
帰妹(きまい)は女(じょ)の終(おわ)りなり。
未済(びせい)は男(だん)の窮(きわ)まるなり。

夬(かい)は決(けつ)なり。剛(ごう)の柔(じゅう)を決(けつ)するなり。

君子(くんし)、道長(みちちょう)じ、小人(しょうじん)、道憂(みちうれ)うるなり。